

「差別なき世界つくっていく」

先日、僕たちの学校で文化祭が行われました。僕たち3年生は、今年学習したハンセン病についての劇をしました。

僕は菊池恵楓園に入所している方を演じさせていただきました。練習では、思うように演じることができず、どうしたらいいかわからない時もありました。そこで、実際に恵楓園の壁を見て思ったこと、もし自分が強制隔離されたらなど、当時の様子を想像しながら演じました。苦しみや悲しみを表現することが多く、大切な役でした。

本番当日は、3年生全員で円陣をつくって肩を組み、気持ちを一つにしました。一人一人が練習とは違う雰囲気、全力で頑張りました。劇が終わり、恵楓園の方々からも「本当に良かった」とおほめの言葉をいただきました。見に来てくださった方々に、ハンセン病について知っていただけたなら、うれしいです。

ハンセン病について学習した僕たちは、これから二度とハンセン病に対して差別や偏見が起こらないよう、正しい知識を発信していきたいです。そして、恵楓園の方々が望む、差別なき世界をつくっていききたいです。